

ふ れ あ い
市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

暖かみのある合理化・効率化

近年の情報技術の進化は、私たちの生活スタイルを大きく変えています。スマートフォンが普及し、コミュニケーションの手段が、電話からLINEなどに移行して来ました。身の回りでも、スーパー等でのセルフレジやキャッシュレス決済など、情報技術を活用したサービスは増え続けています。企業でも、ペーパーレス、リモートの会議が普通になってきました。

労働力不足が叫ばれていますが、国や自治体も例外ではありません。効率的な業務の実現や市民サービスの向上のため、情報技術の活用が進められており、この流れは、DX（デジタル・トランスフォーメーション）と呼ばれています。

本市でも、マイナンバーカードを使ってコンビニや市民交流センターで住民票、印鑑証明など各種の証明書が発行できるようになり、利用も年々増えています。また、子育て関係や介護関係の手続きの一部も市役所に来庁いただくことなく、スマホ等を利用したオンラインで可能になりました。個人を対象とするサービスの増加にとどまらず、産業振興や災害対応などでも情報技術の導入がますます進んでいきます。

市民サービス向上のため、市役所内部の事務作業についても、人工知能の導入、事務手続の大幅な見直しなどによる、自動化や迅速化を進めます。ただ、その目的は、人を減らし、市民との接触を減らすことではありません。社会の高齢化や地域の担い手の減少が進む中で、市役所に期待される役割は増大し、かつ複雑化しています。地域課題の発見や対応には、さらに対話の機会を増やし人と人とのつながりを強化する必要があります。業務効率化で生み出される職員の時間と労力を、より積極的な市民との対話を通じ、地域の課題や活性化に必要な情報を共有し、知識・経験を高めて課題解決の方策を練り上げ、市民とともに行動する方向に振り向けられるよう、業務改善や人材育成に取り組んでまいります。

また、男女共同参画、働き方の柔軟化という観点からも情報技術の導入は重要です。業務の自動化やテレワークの活用によって、男女問わず家事や育児、介護などに取り組みやすくなったり、自己研鑽の時間を創出したりと、ライフステージに応じて働きやすさや働き甲斐が実感できる職場づくりに努め、市内事業所のモデルとなるように、取り組んでまいります。業務効率化というと冷たい、機械的なイメージを持たれるかもしれませんが、私たちは、暖かみのある情報技術の導入を目指しています。市民の皆さまのご理解ご支援をお願いいたします。

後記：四国を震源地とする地震がありました。また、特殊詐欺による被害が南あわじ市でも報告されています。市民の皆さま方には、引き続き、十分な「備え」と「注意」をお願いいたします。

令和6年度 新規採用職員を紹介

※一般＝一般行政職



神木 望（保健師）
健康課
皆さまと共に、南あわじ市の更なる発展のため前向きに努めてまいります。



山崎 真希（保健師）
地域包括支援室
市民の皆さまの健康増進のお役に立てるよう、尽力いたします。



田田 香恵（一般）
総合窓口センター
市民の皆さまに寄り添い、よい町づくりが叶うよう尽力してまいります。



福島 陸生（一般）
財務課
信頼される職員を目指して頑張ります。



神田 紗希（一般）
総務課
市民の皆さまのお役に立てるよう、精一杯努めてまいります。



戸田 大輔（一般）
下水道課
南あわじ市民の皆さまのお力になれるよう尽力いたします。



紺原 萌（一般）
建設課
市民の皆さまに信頼されるような職員を目指し、真摯に業務に取り組みたいと思います。



中島 宏一（一般）
農林振興課
市民の皆さまのお役に立てるよう、日々精進します。



久留米 修司（一般）
商工観光課
物事に柔軟に対応し、積極的に業務に取り組んでいきたいと思っております。



吉川 茉幸（一般）
商工観光課
市民の皆さまの声を大切に誠実で信頼される職員を目指して頑張ります。



正木 佐梨菜（保育教諭）
市子ども園
子ども一人ひとりに寄り添い、元気いっぱい過ごせるよう頑張ります。



赤松 奈瑞菜（保育教諭）
市子ども園
子ども一人ひとりと向き合い笑顔で楽しく過ごせるよう、精一杯頑張ります。



川崎 安理沙（保育士）
志知保育所
一人ひとりの子どもに寄り添い、笑顔あふれる保育を目指します。



木田 あゆ（一般）
学校教育課
魅力あふれるまちづくりに貢献できるよう尽力いたします。



農学部新入生の受け入れ

4月3日、高梁キャンパスにて入学宣誓式を行いました。今年度、農学部には地域創成農学科 29 名（内 3 年次編入1名）、海洋水産生物学科に 50 名が入学しました。南あわじ・岡山・高梁キャンパスの新入生が一堂に集まり、農学部の学生も良い刺激を受けた1日になったと思います。4月5日に授業が開始され、キャンパス内に賑わいが戻ってきました。今年度より臨海実習棟（阿



農学部新入生

那賀地区)を使用した新たな授業も始まるため、より教育・研究に磨きがかかる1年になると思います。今後とも市民の皆さまと学生がよりよい関係を築き上げ、南あわじ市の発展に寄与できればと感じております。

☎同大南あわじ志知キャンパス事務室 ☎ 42-4700